

新型コロナウイルス感染対策

教育、介護・福祉へ支援を

富山市議会
6月定例会
2020年6/11~6/24

学校現場

「新型コロナウイルス」で教育・医療・介護・福祉などの現場にも大きな影響が出ています。赤星ゆかり議員が一般質問で現場の切実な現状と従事者の声を紹介し、国や市の対策を求めました。

教職員の負担軽減へ スクール・サポート・スタッフの増員を



赤星ゆかり議員(6/17本会議)

赤星ゆかり議員は、コロナ対策で学校では消毒作業やトイレ掃除、ゴミ捨て、給食の配膳などをすべて教職員が行っている実態を指摘。現場から「消毒してくれる人、トイレ掃除をしてくれる人でもいいから、来て欲しい」と悲鳴

治振興会等の地域への協力依頼やPTAをおして確保していきたいと述べました。赤星議員は、65の小学校すべてに配置することを評価しつつ、1000人規模の学校でも、1人ぐらいの学校でも、1人というのはいかがか。今後、大規模校には複数配置を検討してほしいと求めました。

夏休み、富山市だけ なぜ、10日間なのか

赤星議員は、「6月1日から学校が再開されたが、長期の休校で学習が遅れるとともに、子どもは不安やストレスを抱えている。子どもたちをゆったり受け止めながら、学びとともに遊びや休息を保障する柔軟な教育が大切」と指摘。保護者や先生からは、夏

赤星議員は、6月1日から学校が再開されたが、長期の休校で学習が遅れるとともに、子どもは不安やストレスを抱えている。子どもたちをゆったり受け止めながら、学びとともに遊びや休息を保障する柔軟な教育が大切」と指摘。保護者や先生からは、夏休みの大幅削減で、暑い中、学校に出てきても子どもたちのモチベーションが下がるのでは、ないか、水泳指導もなくなり、勉強に集中できなくなるなどの心配の声がかかる。教員にとつての負担も大きいものがある。と述べ、「県内の他の市町村では、夏休みは12日間から23日間まであり、富山市だけが、10日間と一番短くなっている。10日間とした根拠は」と問いました。

コロナ対策の 財源に 議員の「期末手当」を10%削減 政務活動費も5割減らす (7月から来年3月まで)



小西直樹議員(6/24本会議)

議員提案で提出された「議員の期末手当の10%削減(6月末分)」「政務活動費の5割削減」の条例が可決された。小西直樹議員が賛成討論に立ちました。

当初、日本共産党と光会派は期末手当の半減または、20%程度の削減を提案しましたが、自民党派は政務活動費の50%削減のみを提案し、期末手当の削減に「子育て中の議員もいるから」など

と反対していました。その後、他党派を含めて協議を重ねた結果、自民党も期末手当の1割削減で賛成に変わり、12月分についても減額を改めて協議することになりました。日本共産党は、政務活動費は本来、議員の調査・研究や議会の活動を市民に知らせて意見を聴く活動費として使用するものでコロナ禍の今こそ有効に使うべき、また昨年度の使用状況は予算額に対して40.92%で、今年度も昨年同様の使用率なら約6割が返納されて、結果的に市の財政への効果は変わらないと主張。

細入「天湖森」のつり橋

異例！住民不在の計画が白紙

予算決定から3カ月で

富山市は細入地区の割山森林公園「天湖森」に160メートルの「つり橋」をかける設計費約5800万円を3月議会に提案し、可決されました。ところが6月議会でも「技術的に困難と判明。白紙に戻し、再検討する」と表明しました。日本共産党派が市の担当者に経緯を聞いたところ、地域からも、運営している「株式会社ほそいり」からも要望は受けていない、課で決めた、総事業費がどの程度かは不明、財源は「過疎債」を使う予定と回答。赤星、小西議員と吉田修・前市議は4月、「天湖森」を訪ね、大きな池、水辺の植物園、小川や木道、キャンプ施設などがある素晴らしい公園でした。

「鳥獣対策や シルバータクシーを」

5月には細入地区に出向き、数人の方に意見を聞きました。元村会議員さんなどから、「なぜ、つり橋なのか」「細入のだれも要望していない」



「つり橋」のイメージ図
3月議会の議案説明資料より(富山市作成)

「私が判断。任期中に方向性出したかった」
森市長は「投資するなら天湖森だと私が判断した。事前調査をして予算計上すべきだったが、時間的余裕がなかった。来年4月の任期満了までに方向性を決めなかった」と答弁。住民不在の計画だったことを認めました。